

景況調査

(平成27年7月～9月期)

平成27年7月～9月期の守山企業景況調査の結果は、以下の通りである。調査結果はDI指数(景気動向指数)を用いて示している。

平成27年7月～9月期の調査結果では、売上高を除いた業況、採算、資金繰りの主要3指標で前回調査より数値が上昇した。

〈業況〉

業況DIは▲13.8で前回調査の▲18.5から4.7ポイント上昇した。業種別では、小売業▲16.7(前回調査比▲6.2)、製造業0.0(前回調査比±0.0)、建設業10.0(前回調査比+10.0)、サービス業▲38.9(前回調査比+5.5)、卸売業0.0(前回調査比+33.3)とサービス業、卸売業が上昇した。

7月～9月期見通しは全体で▲20.4であり、見通しは明る

くない。

〈売上高〉

売上高DIは▲16.9で前回調査より3.1ポイント低下した。業種別では、小売業▲23.1(前回調査比+3.2)、製造業▲16.7(前回調査比▲56.7)、建設業10.0(前回調査比+1.7)、サービス業▲27.8(前回調査比+11.1)、卸売業▲16.7(前回調査比+16.6)であり、製造業の低下が目立つ。7月～9月期見通しは全体で▲10.2となっており、今回実績に比べて6.7ポイントの上昇となっている。

〈採算(経常利益)〉

採算(経常利益)DIは▲15.8で前回調査より15.0ポイント上昇した。業種別では、小売業▲38.5(前回調査比+8.9)、製造業▲9.1(前回調査比±0.0)、建設業11.1(前回調査比+19.4)、サービス業▲22.2(前回調査比

+19.0)、卸売業0.0(前回調査比+33.3)で建設業、サービス業と卸売業が大きく上昇している。7月～9月期見通しは全体で▲16.9であり、今回調査実績より1.1ポイント下向いている。

〈資金繰り〉

資金繰りDIは▲1.9で前回調査より6.6ポイント上昇した。業種別では小売業▲8.3(前回調査比+13.9)、製造業10.0(前回調査比+10.0)、建設業10.0(前回調査比+10.0)、サービス業▲12.5(前回調査比▲5.8)、卸売業0.0(前回調査比±0.0)であった。7月～9月期見通しは全体で▲5.7であり、今回調査実績より3.8ポイント悪化となっている。

〈その他の意見〉

・仕入れるたびに単価が上昇しているようで売れ行きは芳しくないのに…と困ってしまう状況です。
・富が偏在して国民の半数以上が貧困になる。ますます物が売れない時代が来る。自分が買いたい物しか買わない社会は文化国家とは言えない。

